



平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越

コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 本間 博夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長

(氏名) 薄田 賢二

TEL 03-5568-5210

四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	162,331	△0.6	14,677	1.6	13,500	△2.2	8,770	15.1
26年11月期第3四半期	163,292	27.2	14,446	77.1	13,798	82.9	7,617	123.4

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 7,635百万円 (△20.3%) 26年11月期第3四半期 9,579百万円 (△25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	35.49	—
26年11月期第3四半期	30.64	—

(注) 連結子会社のうち在外子会社については、従来9月30日現在の財務諸表を使用しておりましたが、平成26年11月期より、11月30日現在の財務諸表を使用することに変更しました。当該子会社の平成25年10月及び11月の2ヶ月間の実績を除いた調整後の平成26年11月期第3四半期連結累計期間業績との対比につきましては、(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第3四半期	256,538	104,501	38.2	396.49
26年11月期	255,680	97,569	35.8	370.91

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 98,085百万円 26年11月期 91,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	3.1	20,500	10.4	19,500	5.9	12,000	20.8	48.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

在外連結子会社の平成25年10月及び11月の2ヶ月間の実績を除いた調整後の対前期増減率につきましては、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年11月期3Q	249,193,436 株	26年11月期	249,193,436 株
27年11月期3Q	1,810,258 株	26年11月期	2,377,918 株
27年11月期3Q	247,102,412 株	26年11月期3Q	248,587,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年12月1日～平成27年8月31日）の当社グループをとり巻く環境は、国内での消費税引き上げの影響、中国・アセアンをはじめとした新興国経済の成長鈍化など一部に弱さも見られるものの、米国を中心とした先進国経済の回復基調と、海外の自動車生産の堅調な推移などから、引き続き緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、工具、工作機械、ロボット、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーを中心とした新規開拓や、新商品の投入、既存商品のラインナップの拡充などによる売上拡大にとり組むとともに、生産性の向上をはじめとしたトータルコストダウンの成果のとり込みなど、収益改善をすすめてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、1,623億31百万円（前年同期比0.6%減）、このうち、国内向けの売上高は876億45百万円（同1.7%減）、海外売上高は746億86百万円（同0.8%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は146億77百万円（同1.6%増）、経常利益は135億円（同2.2%減）、四半期純利益は87億70百万円（同15.1%増）となりました。

なお、連結子会社のうち在外子会社については、従来9月30日現在の財務諸表を使用しておりましたが、前連結会計年度より、11月30日現在の財務諸表を使用することに変更しております。この変更により、在外子会社については、前第3四半期連結累計期間は11ヶ月となっております。当該子会社の平成25年10月及び11月の2ヶ月間の実績を除いた調整後の平成26年11月期第3四半期連結累計期間業績との対比につきましては、次のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益
27年11月期第3四半期累計期間（百万円）	162,331	14,677	13,500
調整後前年同期（百万円）	152,558	13,936	13,259
調整後増減率	6.4%	5.3%	1.8%

セグメントの業績につきましては、前連結会計年度の在外子会社の決算期変更に伴う影響を除いた調整後前年同期との対比は、次のとおりであります。

- ①機械工具事業につきましては、自動車や航空機、産業機械分野における国内外の需要とり込みに加え、工具やロボットでの新商品投入が奏効し、機械工具トータルの売上高は551億8百万円（調整後前年同期比8.0%増）となり、あわせて採算性向上にとり組んだ結果、営業利益は62億4百万円（同26.7%増）となりました。
- ②部品事業につきましては、日系自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、海外での自動車の需要拡大と、小型建設機械分野のシェアアップをすすめ、売上高は945億66百万円（調整後前年同期比6.8%増）となり、営業利益は71億52百万円（同5.0%減）となりました。
- ③その他の事業につきましては、工業炉の需要変動の影響を受けて、売上高は126億57百万円（調整後前年同期比2.6%減）、営業利益は13億54百万円（同3.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、2,565億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億58百万円増加しました。主として、投資有価証券が11億11百万円、有形固定資産が37億97百万円、退職給付に係る資産が11億83百万円、たな卸資産が27億66百万円増加し、現金及び預金が36億12百万円、受取手形及び売掛金が50億32百万円減少しております。

負債合計は、1,520億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億74百万円減少しました。主として、支払手形及び買掛金が57億61百万円、未払法人税等が26億35百万円減少し、借入金が70億65百万円増加しております。

純資産合計は、1,045億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億32百万円増加しました。主として、利益剰余金が73億24百万円増加し、為替換算調整勘定が21億38百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期の通期の連結業績予想については、平成27年1月15日発表の予想数値から変更はありません。

なお、連結子会社のうち在外子会社については、従来9月30日現在の財務諸表を使用しておりましたが、前連結会計年度より、11月30日現在の財務諸表を使用することに変更しております。この変更により、在外子会社については、前第3四半期連結累計期間は11ヶ月となっております。当該子会社の平成25年10月及び11月の2ヶ月間の実績を除いた調整後の前年通期との増減率につきましては、次の通りであります。

	売上高	営業利益	経常利益
連結業績予想 27年11月期 通期 (百万円)	225,000	20,500	19,500
調整後前年同期 (百万円)	207,491	18,064	17,880
調整後増減率	8.4%	13.5%	9.1%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に基づき決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,213百万円、退職給付に係る負債が373百万円、利益剰余金が542百万円それぞれ増加しております。なお、四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,932	20,320
受取手形及び売掛金	49,906	44,874
商品及び製品	20,834	21,722
仕掛品	12,191	13,841
原材料及び貯蔵品	11,319	11,547
その他	9,258	9,774
貸倒引当金	△114	△93
流動資産合計	127,328	121,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,422	28,872
機械装置及び運搬具(純額)	46,190	52,790
その他(純額)	18,954	16,702
有形固定資産合計	94,566	98,364
無形固定資産	932	980
投資その他の資産		
投資有価証券	21,995	23,106
退職給付に係る資産	6,869	8,052
その他	4,005	4,065
貸倒引当金	△17	△19
投資その他の資産合計	32,852	35,205
固定資産合計	128,351	134,551
資産合計	255,680	256,538
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,483	41,722
短期借入金	13,718	22,533
1年内償還予定の社債	20	-
1年内返済予定の長期借入金	19,026	17,913
未払法人税等	4,462	1,826
その他	18,620	13,876
流動負債合計	103,331	97,871
固定負債		
長期借入金	31,392	30,756
役員退職慰労引当金	30	34
退職給付に係る負債	11,062	11,128
負ののれん	1	-
その他	12,292	12,245
固定負債合計	54,779	54,165
負債合計	158,111	152,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,561	11,561
利益剰余金	56,970	64,294
自己株式	△1,418	△1,030
株主資本合計	83,188	90,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,656	9,571
為替換算調整勘定	753	△1,385
退職給付に係る調整累計額	△1,052	△1,002
その他の包括利益累計額合計	8,357	7,184
少数株主持分	6,023	6,416
純資産合計	97,569	104,501
負債純資産合計	255,680	256,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	163,292	162,331
売上原価	126,832	123,501
売上総利益	36,460	38,829
販売費及び一般管理費	22,014	24,152
営業利益	14,446	14,677
営業外収益		
受取利息	36	48
受取配当金	356	379
負ののれん償却額	8	1
持分法による投資利益	40	32
団体定期保険配当金	206	217
その他	411	265
営業外収益合計	1,060	943
営業外費用		
支払利息	816	898
売上割引	378	372
団体定期保険料	248	225
その他	263	624
営業外費用合計	1,707	2,120
経常利益	13,798	13,500
特別利益		
固定資産売却益	16	16
特別利益合計	16	16
特別損失		
固定資産除却損	87	28
投資有価証券評価損	2	-
独占禁止法等関連損失	1,174	-
特別損失合計	1,265	28
税金等調整前四半期純利益	12,550	13,488
法人税、住民税及び事業税	4,480	4,377
法人税等調整額	122	196
法人税等合計	4,603	4,573
少数株主損益調整前四半期純利益	7,946	8,914
少数株主利益	329	143
四半期純利益	7,617	8,770

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,946	8,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	927
為替換算調整勘定	1,674	△2,281
在外子会社年金債務調整額	△73	-
退職給付に係る調整累計額	-	50
持分法適用会社に対する持分相当額	50	25
その他の包括利益合計	1,632	△1,278
四半期包括利益	9,579	7,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,059	7,597
少数株主に係る四半期包括利益	519	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,669	96,422	13,200	163,292	—	163,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,007	602	6,274	9,884	(9,884)	—
計	56,676	97,025	19,474	173,176	(9,884)	163,292
セグメント利益	5,048	7,957	1,412	14,418	27	14,446

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,108	94,566	12,657	162,331	—	162,331
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,532	1,013	6,466	9,011	(9,011)	—
計	56,640	95,579	19,123	171,342	(9,011)	162,331
セグメント利益	6,204	7,152	1,354	14,710	△33	14,677

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。